

令和2年度（2020年度）経済環境常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和2年（2020年）11月9日（月）～10日（火）
- 2 視察者 経済環境常任委員会（7名）
緒方勇二（委員長）、末松直洋（副委員長）、早田順一、
内野幸喜、前田憲秀、島田 稔、城戸 淳

3 視察の概要

（1）震災ミュージアム

熊本地震で甚大な被害を受けた旧東海大学阿蘇キャンパスは、その教訓を後世に伝えるべく、「熊本地震震災ミュージアム」の中核拠点として整備が進められ、令和2年（2020年）8月1日から「旧東海大学阿蘇校舎1号館」と「地表地震断層」の一般公開が開始された。



今回の視察では、北側復旧ルートの開通により、阿蘇エリアを中心とした広域周遊観光でも所要時間の大幅な短縮が見込まれている中、震災ミュージアムの整備状況、教育旅行の状況について説明を受け、公開された施設を見学した。

今回の視察では、北側復旧ルートの開通により、阿蘇エリアを中心とした広域周遊観光でも所要時間の大幅な短縮が見込まれている中、震災ミュージアムの整備状況、教育旅行の状況について説明を受け、公開された施設を見学した。

震災ミュージアム具体化推進事業を所管する知事公室からは、一般公開以降、県内外から修学旅行や研修等での訪問が増えており、今後整備予定の体験・展示施設のほか、語り部の研修等も行い、人材育成にも努めていくとの説明があった。

（2）熊本国際空港株式会社

熊本国際空港株式会社は、令和2年（2020年）4月1日から「阿蘇くまもと空港」の航空管制を除く運營業務を開始した。



また、令和5年（2023年）春に、国際線・国内線共用の新しいターミナルビルを開業する計画で、現在、工事が進められている。

今回の視察では、空港の利用状況やコロナ禍での対応状況、インバウンド対策の取組方針などの説明を受けた。

同社代表取締役社長からは、航空業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況であるが、コロナ後を見据え、国内の新規路線の開設、既存路線の

増便、国際線の復活に取り組むとともに、地域のニーズや需要を捉え、空港の利用促進につながる取組を進めていきたいとの説明があった。

(3) 株式会社クリエーションWEB PLANNING

株式会社クリエーションWEB PLANNINGは、天草の海をベースに水産、加工、販売の6次産業化を通し地域課題の解決に挑戦し、天草のサンタカミングホテルと共同で開発した深川水産の天草ブリの冷凍のお弁当総菜など、天草の味覚を全国へ届けている。

今回の視察では、起業の経緯や商品の販売状況、新型コロナウイルス感染症の影響等について説明を受けた。

同社代表取締役社長からは、100年先も天草の一次産業が続くようにとの思いを込めて、平成25年（2013年）に起業したが、たくさんの課題が見えており、一企業だけでは間に合わないこともあるので、行政やほかの企業、研究機関ともコラボしながら一つ一つ課題をクリアしていきたいとの説明があった。

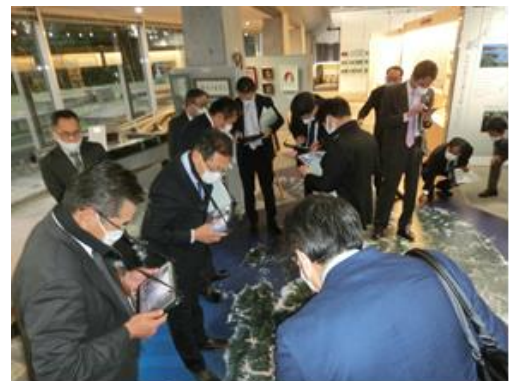


(4) 天草ビジターセンター

天草ビジターセンターは、天草の入り口、上天草市の天草五橋の傍に位置し、天草の自然や歴史等を紹介する施設で、令和元年（2019年）8月にリニューアルオープンしている。

今回の視察では、リニューアルで一新された内容や展示物を視察し、利用状況等について説明を受けた。

館長からは、天草が活性化していく姿を、来館されるお客様だけでなく、SNS等も駆使しながら、全国に情報発信していきたいとの説明があった。



(5) 県環境センター

熊本県環境センターは、地球温暖化問題を主なテーマとした施設を整備するため、全面的なリニューアル工事を行い、令和元年（2019年）3月にリニューアルオープンしている。

今回の視察では、施設の利用状況や新型コロナウイルス感染症の影響等について説明を受け、常設展示である気候変動シミュレーションを視察した。

館長からは、コロナの影響で環境セン



ターに來れなくなった県内の子供たちのために、オンラインで環境学習ができるよう、また、間違った指導をしないよう、各学校の環境状況に応じた動画を作成し配付することを計画しているとの説明があった。

(6) 肥薩おれんじ鉄道株式会社

肥薩おれんじ鉄道は、地域の輸送手段として、また、地域の観光や産業の活性化の役割を担う鉄道として運行していたが、令和2年7月豪雨により、線路への土砂流入や土砂崩れなどにより甚大な被害に見舞われた。

今回の視察では、災害復旧の状況や今後の観光事業等の展開等について説明を受けた。

同社代表取締役社長からは、11月1日から全線での運行を再開したが、復旧工事は令和3年(2021年)の秋までかかる。コロナの影響もあり、輸送人員は大幅に減ったが、新しい生活様式を踏まえ、感染防止対策とマイクロツーリズムの取組を強化したいとの説明があった。



(7) 八代工業用水道【白島浄水場】

八代工業用水道【白島浄水場】は、球磨川の遥拝堰から取水して、八代外港工業団地に立地している企業に対し工業用水を供給している。

今回の視察では、企業への工業用水の供給状況等について説明を受けた。

所管する企業局からは、令和2年7月豪雨により濁度計で測ることができないくらい水が濁っていたが、薬品の設備を前年度末に更新していたことから、問題なく浄水処理を行うことができたとの説明があった。



(8) 八代外港工業団地

八代工業用水の供給先である八代外港工業団地への企業誘致の状況について説明を受け、車窓から見学した。

所管する企業立地課からは、現在、おおむね60の企業が入居しているが、引き続きコンタクトをとりながら、誘致と増設等に力を入れていきたいとの説明があった。

(9) くまモンポート八代

訪日客誘致の拠点となる「国際旅客船拠点形成港湾」に指定された八代港は、国際クルーズ船の拠点を目指して整備が進められ、熊本県の大人気キャラクターくまモンをテーマにした公園も設けられた。

今回の視察では、新型コロナの影響でオープンが先送りされたくまモンパークや物販施設の状況について説明を受け、施設を見学した。

くまモンパークを整備したロイヤル・カリビアン・ジャパンホールディングの担当者からは、ロイヤル・カリビアン社の開発担当者と知事のアイデアが凝縮され実現した、日本の中でも類を見ない素晴らしい公園を併設したターミナルであるとの説明があった。

